

(一社)防府薬剤師会だより

清流

第131号

2016.10.1



防府稲荷大明神(防府天満宮裏参道横) 撮影 松浦 紘明

目次

会長就任のあいさつ(寿町薬局 松浦 紘明)		1
気ままトーク(会営国分寺薬局 吉岡 宏)		2
服薬指導の実例(いちのみや薬局植松店 小橋 長任)		3
薬局紹介(そうごう薬局三田尻店 久保 彰則)		4
生涯教育		5
こんにちは		6
会員の動き		7
日本在宅薬学会学術大会参加体験記		
(在宅医療推進委員会 竹光 茂樹)		8
(在宅医療推進委員会 渡 義彦)		10
定例理事会報告		12
山口健康福祉センターからのお知らせ		15
防府健康フォーラム2016のお知らせ		
(生涯学習委員会 三堀 史郎)		16
納涼会が開催されました(親睦小委員会 松井 都世子)		17
編集後記		18

－ 会長就任のあいさつ －

(一社) 防府薬剤師会 会長

寿町薬局 松浦 紘明

本年5月28日の定時総会後の臨時理事会にて、(一社)防府薬剤師会会長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

これまで、一般社団法人化、会営薬局の移転改装、在宅医療に関する事業、健康フォーラム等三師会の連携の充実など、防府薬剤師会にとって重要な事業が行われてきました。これらの事業は、引き続きより充実したものにしていきたいと思います。

一般社団法人化に伴う公益事業については、市民向けの講演会の開催や薬と健康に関するイベントの開催等充実させていきます。また、防府は他地域に比べて医師会・歯科医師会との交流が活発ですが、今後もより一層連携を密にして、三師会で協力して地域の健康増進に貢献できるように努めて参ります。

今年度の調剤報酬改定では、「門前からかかりつけ、そして地域へ」と変革が求められました。「かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局」の報酬が新設され、「健康サポート薬局」についても、本年8月から研修事業が始まり、10月からは届出も開始されます。今回の改定は皆様ご存知の通り、団塊の世代(約800万人)が75歳以上となる2025年をふまえて、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に対応したものです。調剤報酬においても、より地域密着型の薬局へとシフトし、在宅医療がより重要になってきています。

「地域包括ケアシステム」では医療、介護、行政との連携が必要です。保険薬局委員会の委員長として進めてきた「薬薬連携」の経験を生かして医療、介護、行政との連携をより一層進めていこうと思います。また、政府が目指す「健康長寿社会」の実現のために、薬局としてセルフメディケーションの観点からOTC薬の充実にも取り組みます。

防府薬剤師会として、会員の皆様が出来るだけスムーズに「地域の方々のための薬局・薬剤師」となれるよう、チームワークで理事とともに一丸となって取り組んで参りますので、皆様ご協力の程よろしくお願いいたします。

会の活性化には若い力(もちろん気が若い方も!!)があればもっと活性化に繋がります。リオオリンピックでは多くの日本選手が活躍しました。特にチームワークが必要な団体戦では個人の力以上の力を発揮したのはみなさまご存じの通りです。

新しく会員になられた方も増えて来ていますので、ぜひ会の活動に参加して下さい。もし各委員会から委員の誘いがあった時はすぐに断わったりせずにどのような活動をしているのか覗いてみてください。自分にとって必ずプラスになる事と思います。安倍マリオのようなパフォーマンスは得意ではありませんが、コツコツと地道に遂行していく所存です。みなさまと一緒によりよい防府薬剤師会にしていきたいでしょう。



— 気ままトーク —

夏の恒例行事

会営国分寺薬局 吉岡 宏

今年の夏は例年になく暑かったですね。皆様、如何お過ごしだったでしょうか？リオオリンピックに夢中で寝不足になったり、カープの順位がいつもと違い不安と喜びが混ざっていたり、モンスター捕獲の為、携帯片手に街を徘徊したり・・・。私はというと、恒例行事である演奏会の練習に追われる夏でした。

以前、県薬広報誌にて毎年とある吹奏樂團の手伝いをしている記事を書きました。（その時は、阿波踊りを踊っていましたね。）その後、正式に団員となって現在に至っています。演奏と同じくらいに演出に力を入れているちょっと変わった樂團でして、今年は「銀河の旅」という演出をした結果、某銀河鉄道の車掌になってしまいました。

今年4月頃、演奏する曲が決まる前になぜか私だけ配役が決まっており、担当者いわく、「恰幅がいいから！」と。



早速、衣装作りに取り掛かりました。制服は古くなった白衣をスプレーで青くし、ボタンは百円ショップでフェルト製の床のキズ防止テープを、襟は花火セットに付いていた赤い台紙。帽子は5月に義弟の結婚式で出掛けた埼玉大宮で鉄道記念館に立ち寄り、「電車で帽！」というぬれ煎餅の菓子箱が車掌帽になるというすぐれものをゲット。目は10年以上前に競馬場で手に入れた黄色のゴーグルに百円ショップで購入したLEDライト貼り付け、顔は要らなくなった黒いバック。手袋は某先生の新居見学会で提供されたもの。腕章も百円ショップ。かなり低コストで再現できました。百円ショップ様、様。

今回、最大の難関はその衣装のままで演奏をこなすことでした。何せ視野が狭く全て黄色に見え、そして何よりも暑い。会場は野外音楽堂なのでクーラーが有るわけではなく、一時間近く厚手の長袖に手袋と黒い被り物の格好なんて、何の罰ゲームでしょうか？

なんやかんやと本番となりましたが、有り難いことに私の演技は観客にウケたようです。演奏も何とかこなし、無事に終えることが出来ました。

毎年、聴きに来てくれる息子が「父ちゃん、カッコよかった！」、何よりのご褒美でした。



— 服薬指導の実例 —

いちのみや薬局植松店 小橋 長任

いちのみや薬局植松店の小橋と申します。薬剤師として働き始めてまだ2年目の新米薬剤師です。当薬局は小児科、婦人科、歯科の処方箋を主に取り扱っております。中でも小児科の割合が多く、患者様本人に投薬ができない難しさをひしひしと感じる毎日です。今回は難しいと感じた服薬状況を紹介致します。

まずは「保護者が薬局内をウロウロするお子様から目が離せない状態での投薬」です。本来であれば、服薬指導を行う際にはまず患者の症状を聞き、きちんと薬剤が処方されているか確認した後に薬の説明を行い、終わりには気になる点がないか確認するというのが一連の流れですが、保護者はお子様をしきりに見て集中ができない様子で「早く終わって」というオーラがあります。そんな状態でも保護者が理解できるように指導しなければなりません。そのような時はまず薬の説明から入り、その後にお子さんの症状を尋ねます。この順番であれば最初の集中力が高い段階で薬の話を聞いていただきやすく、さらにお子さんの症状も快く話してもらえることが多いです。このように保護者やお子様の状態を観察し、指導の順序から変えなければならないことがあります。

次に難しいと感じたのが「薬をあんまり飲んでくれないお子様の投薬」です。一言で「薬を飲んでくれない」と言っても様々なケースがありますので、まずは保護者に「いつもどのようにして飲ませていますか？」と現状を確認します。すると薬を粉のまま飲ませていたり、水に溶かして飲ませていたり様々です。粉のままや水で溶かしても飲めない方には、甘い飲み物、お子様の好きなもの、デザートなど少しづつ混ぜて服用させるように指導しています。お子様ごとに飲みやすくなる混ぜ物が違うため、保護者と一緒に探すようにしています。赤ちゃんの場合には1～2滴の水で薬を練って上あごや頬の内側につけて飲ませるように指導していますが、この方法で吐き出してしまう子もいらっしゃいました。その場合、水に溶かして服用する方法を指導したり、数回に分けて飲ませるよう指導し、最終手段として粉薬をシロップ剤に変更できないか疑義照会をしています。もちろん混ぜる薬によっては苦味が強く出るものもあるので、その薬剤については口頭での説明だけでなく、指導箋を渡すなどして注意喚起しています。

薬が飲めなかった子が飲めるように保護者と一緒に考え、保護者から「飲めるようになってから元気になりました！」と言ってもらえ、子供自身も笑顔になっていく過程を見られる事で薬剤師としてのやりがいを感じています。これからも患者さんのため、様々な状況に対応できるよう日々精進していきたいと思います！

— 職場紹介 —

そうごう薬局三田尻店 久保 彰則

開局して、もうすぐ10年目を迎えるそうごう薬局 三田尻店の現在管理薬剤師を勤めております久保といたします。防府にはかれこれ5年近く住んでいますが、防府薬剤師会の所属はまだ2年目です。去年はそうごう薬局 防府駅南町店の開局時に記載させて頂きました。

そうごう薬局 三田尻店では、開局時に一度掲載いただいておりますのですが、再度掲載いただく機会を頂きまして有難うございます。

現在医療事務6名、薬剤師7名の13名います。

そうごう薬局 三田尻店では、常に患者さんのほうを向いて行動するように心がけるようにしています。薬局には様々な方が来られ、処方箋を持って来られる方、OTCを買いに来られる方、お薬や健康について相談される方など、多くの方が来られ、その中で患者さんがどういった心理かを見て予測できる部分は即座に対応する必要があると感じております。そういった方々に対して、十分なサービスを提供するには薬局スタッフがどれだけ患者さんを見ているかが重要になると思います。

また、調剤薬局を基本として在宅医療も行っており、患者さん一人一人としっかり向き合って正しいケアに導けるように日々研鑽に励んでおります。

まだまだ未熟な部分が多いですが、今後より成長して、皆さんに頼られる薬局になっていけるように対応してまいります。今後も暖かく見守っていただけると幸いです。



— 生涯教育 —

- 6月9日(木) 出席者数：20名(薬剤師数20名 内会員数19名) 操薬トーク in 防府
JPALSコード「35-2016-0046-101」
「最新の医薬関連情報(4～5月度)と症状からみる病態生理(緩和医療 Part 1)」
広島大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 森川 則文 先生
- 6月16日(木) 出席者数：76名(内薬剤師数39名 内会員数37名) 在宅医療に関する研修会
JPALSコード「35-2016-0049-101」
「認知症をあきらめない治療術～認知症だからこそ笑顔で暮らしてほしい～」
山口博愛病院 井上 博文 先生
- 6月24日(金) 出席者数：71名(内薬剤師数：50名 内会員数38名) 防府医師会共催学術講演会
JPALSコード「35-2016-0047-101」
「LDA/NSAID 潰瘍とボノプラザンについて」 武田薬品工業株式会社
「酸関連疾患の現状と今後の展開」大阪大学大学院医学系研究科 消化内科学 助教 林 義人 先生
- 7月14日(木) 出席者数：66名(内薬剤師数：49名 内会員数36名) 防府循環器カンファレンス
JPALSコード「35-2016-0073-101」
「新しい心血管イベント危険因子-食後高脂血症-を考慮した高脂血症治療戦略」
大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 教授 森下 竜一 先生
「リスクを有する心房細動患者と抗凝固療法～臨床試験を実臨床に活かす～」
地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター 総長 堀 正二 先生
- 7月15日(金) 出席者数：74名(内薬剤師数45名 内会員数31名)
糖尿病と心血管イベントを考える会
JPALSコード「35-2016-0074-101」
症例報告「当院における心腎保護を目指した糖尿病治療の取り組み」
山口県済生会山口総合病院 内科部長 渋谷 正樹 先生
「腎臓生理を考慮した糖尿病性腎症の治療」
近畿大学医学部 腎臓内科 主任教授 有馬 秀二 先生
- 7月21日(木) 出席者数：40名(薬剤師数40名 内会員数39名)
HOFU-実践 Chemo 塾～見て・さわって・学ぼう！～
JPALSコード「35-2016-0075-101」
「抗がん剤の副作用についての紹介」
株式会社 アステム がんMC 山口県担当 竹本 利彰 先生
「抗がん剤副作用(皮膚障害)について～実技を中心に～」
マルホ株式会社 ファーマシー事業部 近藤 芽衣 先生
- 7月29日(金) 出席者数：63名(内薬剤師数41名 内会員数36名)
防府医師会共催学術講演会
JPALSコード「35-2016-0076-101」
「エリキュース錠について」 ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社
「患者さんとの想いをつなぐ抗凝固療法を目指して」
山口県立総合医療センター循環器科 部長 金本 将司 先生

— こんにちは和 —

ふりがな ふじい かほり
氏名：藤井 香帆里

血液型：O 型

出身大学：星薬科大学(平成 26 年度卒)

勤め先：山口県立総合医療センター

趣味：ショッピング

好きな言葉：人生一度きり

ひとこと：たくさん学んで、たくさん経験して、
日々精進していけたらと思っています。
よろしくお願いします。



ふりがな よしもと えりか
氏名：吉本 衣梨花

血液型：O 型

出身大学：広島大学（平成 27 年度卒）

勤め先：新しくわのやま薬局

趣味：音楽鑑賞 映画鑑賞 旅行

好きな言葉：「ありがとう。」

誰もが笑顔になれる素敵な言葉。

いつも感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

ひとこと：大好きなふるさと防府で薬剤師として働けることをとても嬉しく思います。
これから頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします！！



ふりがな ふじい ひでとし
氏名：藤井 英寿

血液型：O 型

出身大学：神戸学院大学（平成 23 年度卒）

勤め先：そうごう薬局 防府駅南町店

趣味：サッカー フットサル ランニング

好きな言葉：継続は力なり

ひとこと：薬剤師として働き始めた防府に 3 年ぶりに戻ってきました。
これから宜しくお願いします。



ふりがな やまじ さ おり
氏名：山地 紗おり

血液型：A 型

出身大学：大阪薬科大学（平成 18 年度卒）

勤め先：えびす薬局新田店

趣味：ご当地キャラ集め 旅行

好きな言葉：ありがとう

ひとこと：薬剤師として働き続けるため、日々精進していきたいと思います。



ふりがな いそべ くにや
氏名：礒部 邦彌

血液型：B 型

出身大学：東日本学園大学（昭和 62 年度卒）

勤め先：山口県立こころの医療センター

趣味：旅行

好きな言葉：情熱

ひとこと：精神科での薬物療法は学ぶことも多く楽しいです。



－ 会員の動き －

◇入会◇

深田 良裕	山内薬局
新本 一平	フタミ薬局
水津 真人	防府病院
矢野 弘	昭和薬局
山下 美智子	いくも薬局八王子店

◇退会◇

守田 和彦	こころの医療センター
中田 光洋	フタミ薬局

◇変更◇

林 有貴	いくも薬局八王子店	→	いくも薬局天神店
吉田 守男	防府病院	→	無所属

一 日本在宅薬学会学術大会参加体験記 一

在宅医療推進委員会
桑陽病院薬局 竹光 茂樹

このたび、下記のとおり学会発表のご報告をいたします。また、研修会参加につきまして、松浦会長をはじめ一般社団法人防府薬剤師会のご理解・ご助力を賜り有難う御座いました。

研修会名：第9回日本在宅薬学会学術大会

開催場所：グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）（大阪市北区）

開催時期：平成28年7月17日（日）～18日（月・祝）

ポスター発表：「山口県防府市における市民の健康増進に向けた防府薬剤師会の取り組み」

○ 発表報告

本発表では、平成28年2月21日（日）に実施された当会主催の健康フェアにて行った、指先生化学検査による健康チェックについて報告いたしました。特に、国内で前例のない「D-ダイマー」の測定が健康チェックで可能であることや、低侵襲で簡便かつ短時間で測定可能な指先生化学検査の新たな有用性について訴えることができました。当日は、示説時間においても座長が立つことはなく、ほとんどは各セミナーの合間にポスター閲覧にいらした先生方の質問を受けてお答えするといった形式でした。

D-ダイマーそのものをご存じでなく、何の指標で何のために計測したのか、その背景を尋ねられる先生方が多くいらっしゃいました。また、特定健診でない検査項目であることや採取血液量が多いことなど、D-ダイマーの計測に関する関心は高く、その意義や有用性についてしっかりアピールを行うことができました。その他、当会がこれまで築いてきた三師会および行政との関係や、それらによる健康フォーラムや当会主催の健康フェアの開催についてお問い合わせいただきました。D-ダイマーをはじめとする指先生化学検査を、離島や医療的に僻地な環境に持ち込んで実施したいと考えておられる方もおられ、宮崎の薬局薬剤師の先生方などは、特定の介護施設の入所者は定期的な血液検査が実施されておらず、施設まるごと指先生化学検査を実施したいとのことでした。

前会長の福田淳子先生が現地におられたため、閲覧にいらしたみなさまと積極的にご交流いただき、多くの方々に大きな感銘や共感をいただくことができました。また、広大教授 森川先生におかれましては、健康フェアから本発表までの間、懇切丁寧にご指導を賜り心より感謝いたしております。

本発表により、D-ダイマーの計測が指先生化学検査で可能であることが実証されました。本発表を契機に、一刻も早いD-ダイマー計測の臨床応用が実現されることや、指先生化学検査による簡易検査が、離島などの医療的に僻地な環境における健康増進や災害対策に役立てられることの実現を期待しております。

また、私も、微力ながら引き続き当会の活動の一助となりますよう努力を続けてまいります。

諸先生方におかれましては、今後ともご指導とご鞭撻のほどなにとぞよろしくお願い申し上げます。



山口県防府市における市民の健康増進に向けた防府薬剤師会の取り組み

○ 竹光 茂樹¹⁾、三堀 史郎¹⁾、木下 裕貴²⁾、大津 真央²⁾、毛利 有貴²⁾、黒田 明²⁾、猪川 和朗²⁾、松浦 紘明¹⁾、福田 淳子¹⁾、森川 則文²⁾

一般社団法人防府薬剤師会¹⁾、広島大学薬学部臨床薬物治療学研究室²⁾

はじめに

これまで当会では、**三師会**(医師会・歯科医師会・薬剤師会)と**地方行政**(防府市健康増進課など)との共催による市民公開講座にて、**広島大学薬学部**と共同で検体測定を行い、市民の健康意識や医療機関受診の動機付けを高めることに貢献してきた。このたび、**当会主催の健康フェアにて指先生化学検査による健康チェックを行った**ので報告する。

方法

手指自己穿刺による指先生化学検査



薬局薬剤師が自己採取法により得た微量検体を用い、



薬効の指標値(薬物濃度・生化学検査値等)を測定解析



薬物治療を評価・適正に管理する

応用

健康状態のチェック

くすりと健康フェア	
日時	平成28年2月21日
場所	防府市地域協働支援センター
来場者数	約150人
主催	(一社)防府薬剤師会

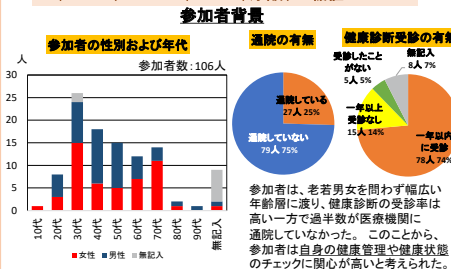


自己穿刺・採取			
測定項目	測定機器	血液採取量	時間
TG、T-CHO、LDL-CHO	コバス [®] b101	18 μL	6分
HbA1c	コバス [®] b101	2 μL	6分
尿酸	レフトロン [®] プラス	32 μL	3分
Dダイマー	コバス [®] h232	150 μL	8分
血糖値	メディセーフ [®] ミニ	0.8 μL	10秒

文書同意の上、参加者本人の指先自己穿刺により血液を採取し、中性脂肪(TG)、総コレステロール(T-CHO)、LDLコレステロール(LDL-CHO)、尿酸(UA)、HbA1c、血糖値およびDダイマーのうち希望する項目について測定を実施した。
各測定結果は文書にて報告し、事前および事後には参加者よりアンケートを採取した。10代の参加者については親権者の同意を得て測定を行った。

結果

TG、T-CHO、LDL-CHO、HbA1c、尿酸、血糖値について



測定結果

項目	測定人数	基準値を超えた人数	基準値を超えた人数のうち
			40~70代の人数
TG	89人	51人(57%)	34人(67%)
T-CHO	91人	46人(51%)	27人(59%)
LDL-CHO	91人	15人(17%)	13人(87%)
UA	81人	9人(11%)	4人(45%)
HbA1c	101人	11人(10%)	10人(91%)
随時血糖値	64人	0人(0%)	0人(0%)
食後2時間血糖値	7人	3人(43%)	3人(100%)

参加者の多くは、希望した項目の測定結果が基準範囲内で維持され、事後アンケートでは「安心した(54%)」、「予想通り(43%)」といった回答が得られた。一方で、特に脂質において基準値を超えた割合が高く、40代~70代が中心を占めた。食後2時間血糖値が基準値を超え、かつ通院していない事例については、今後特に経過に注意を要すると思われる。測定項目が基準値を超えた参加者には薬剤師がその場で対応し、受診勧奨などの助言や他職種との相談ブースへの案内を行った。

今後薬局で検査したいか



多くの参加者が、薬局で健康チェックを行う機会を望んでいる実態がわかった。

基準値を外れた方



生活習慣改善のための健康相談など、薬局薬剤師には適切な情報提供が求められることが示された。

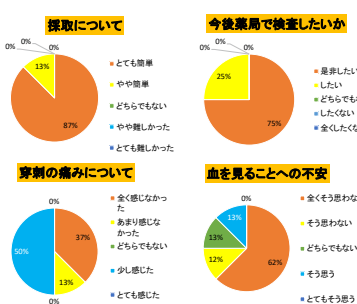
Dダイマーについて

参加者背景

参加者 8人(30代~70代 男性2人、女性6人)のうち、6人は一年以内に健康診断を受診し、4人は定期的に通院していなかった。

測定結果

8人全員が基準範囲内であった。



Dダイマーの測定は、参加者への十分な説明のもと容易に受け入れられ、今後薬局で検査を希望する声も高かった。一方で、血液採取量が多くの相応の技量が求められることが課題となると考えられた。

意見・感想

事前アンケートにて

「とても有意義でありがたい機会」
「糖尿病の家族歴があり不安を感じている」

事後アンケートにて

「自分の現状を知り、食事などの日常生活を見直す良い機会になった」
「日頃の不安が少し楽になった」
「定期的にこのように検査ができれば、いろいろと健康について意識ができる」
「薬局に導入されても利用したい」

考察

薬局は、検体の採取と測定に適した環境であり、**薬剤師**は、適切な情報提供や医療機関等との連携が求められることが示された。また、**Dダイマー測定が可能**であることが実証され、低侵襲で簡便かつ短時間で測定可能な指先生化学検査の新たな有用性が示唆された。
薬剤師会主催の健康フェアは、医療に係る地域活動として大きな役割を果たしており、十分な測定機器を揃えるためにもより積極的な地域の薬局・薬剤師の参加が期待される。

在宅医療推進委員会 シブヤ薬局下右田店 渡 義彦

今回、この在宅薬学会なるものに参加し発表することになったきっかけは、今年2月に防府薬剤師会の主催で行った『くすりと健康フェア』での基調講演に來防していただいた、狭間研至先生がこの学会の理事長であり、その時のご縁で『防府薬剤師会版 お薬管理箱による服薬支援と社会貢献への取り組み』という題材について在宅推進委員会の有志と一緒に参加しました。

発表者といってもあくまでポスターセッションで正式に時間が決まっているわけではなく、ポスターの前に立って来られる方に説明したり質疑応答したりするわけで、人が立ち止まったり注目しなければ適当に抜けて他のシンポジウムを聞きに行っても良いわけなのでのんびり構えていたのですが、とんでもない。始まるやいなやどっとうちのポスターの前に人だかりができて、またそれがいつまでも途切れないといった大反響でこちらのほうが面食らってしまいました。説明を聴いた上で持ち帰り検討したい希望者にはお薬管理箱の新バージョンをサンプルとして1人1個でお分けしていたのですが、あらかじめ防府から送ってもらっていたサンプル(40セット)は1時間半ですべてなくなり、一緒に持っていった注文書兼用のチラシも早くなくなったため、両面コピーし対処しました。

4年前から何度も行ってきた防府薬剤師会主催の『多職種連携ワークショップ』にて服薬支援をテーマに色々な職種の方同士が討論しているうち、その服薬支援のツールの一つとしての管理箱の作成が始まりました。くすりは飲み忘れれば期待された効果が出ず、また飲みすぎれば副作用が出かねません。効果の最大化、副作用の最小化が一番の薬学的管理となり、服薬を応援して支えるつまり服薬支援となるわけです。あくまで困った患者様をいかに薬学的に管理支援していくかのために利用した管理箱ですが、そこへそのワークショップに参加された障害系ケアマネの方の意見から、『福祉支援作業所』である右田の心促福祉作業センターに作成の仕事をお願いしました。そこに働く方がわずかながらの日銭を稼ぐことができ、それにより自信が付き社会に出て行くきっかけにもなります。

実際、今回の説明の折にもそんな作業所があるのか、どこにもあるのか、そういう支援などは今まで考えもしなかったがぜひ帰って自分の地区のことも考えてみようと思われたいと支援のあり方にも評価をいただきました。それになんといっても4年に渡る持続的な取り組みを継続しておこなっていることにもずいぶん評価していただいたようです。マスコミからも取材を受けました。いつのまにかすごいことになっているのです。今後もこの取り組みはぜひ続けていくよう皆さんに言われました。

やはりというか帰った次の日から当然のように北は北海道、南は沖縄など全国から問い合わせが後をたたず、注文もどんどん入っているところです。

みなさんも是非、新バージョンの『お薬管理BOX』を服薬支援の手段に使ってみてください。

『お薬管理BOX』を使用することで、一包化された薬がわかりやすく管理でき、コンプライアンスの向上に繋がることはもちろんですが、購入することで障がい者の就労支援にもつながります。

□心促福祉作業センターさんのFacebookページから購入を <https://www.facebook.com/sinsoku.hofu/>



演題番号

「おくすり管理箱」を通じた服薬支援と 地域貢献に対する防府薬剤師会の取り組み

○ 渡 義彦¹、藏田 康秀¹、舟谷 博文¹、能野 伸治²、田内 信浩²、
吉岡 宏¹、越智 志穂¹、松浦 紘明¹、福田 淳子¹

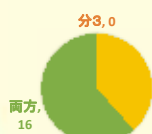
1. 一般社団法人 防府薬剤師会 2. 心促福祉作業センター

目的：実際に在宅訪問を始めると様々な理由で服薬遵守できない事例（飲み忘れとか飲みすぎ）がある。飲み忘れればその効果が期待できず、飲みすぎれば副作用のリスクが大きくなる。患者本人や家族・介護者は、各々が独自になんとか薬を正しく服薬しよう（させよう）と考え、自作で色々なお薬箱を作っている。そんな状況で、利用者の視点に立ち、より安価でまた、使いやすく、安全な箱があればと考え作製した。

方法：薬の管理箱作製にあたり、地域貢献が出来ないかと考え、まず第1版を障がい者の自立や支援を目的とした社会福祉法人である『心促福祉作業センター』と協議・作製し、防府市内の多職種を巻き込んだ多くの方々に使っていただき、意見を集約した。その後改良を重ね、持ち運びも可能である『お薬管理箱』を作製した。

おくすり管理箱に関するアンケートを実施
アンケート実施日：平成28年2月21日
アンケート回答者：くすりと健康フェア参加市民
アンケート回収：26名

仕切り数調査



段数調査



従来品(1段・分4タイプ)の感想

- 良い点**
- ・持ち運びに便利
 - ・コンパクトでいい
 - ・紙なので軽くていい
- 改良点**
- ・用法の色分けがあるといい
 - ・分包紙の高さが合わない
 - ・人によって選べるほうがいい

薬剤師会

+

心促福祉作業センター

使いやすい
お薬管理

- 多方面からの視点で改良を繰り返しながら作製
- 社会福祉支援作業所とともに作製することで地域貢献

心促福祉作業センターの紹介

防府市を拠点に、障がいのある方の就労支援を行っている事業所。当該事業所では2つの支援サービスを行っている。

1つは就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供。主に紙器加工で、菓子箱などのケースの作製から組み立て、その他印刷物の後加工などを行う。

もう1つは一般企業等への就職に向けた訓練・就職活動・就職後の職場定着などの支援を行い、障がいのある方の自立達成を目標に就労と生きがいある生活を目指し活動している。



人口：約11万5千人
そのうち27%強が
65歳以上の高齢者

介護・医療・行政の負担増



- ・仕切りのタイプは分3タイプと分4タイプの2種類を作製
- ・大きさも1週間タイプ、2週間タイプの2種類を作製



- ・フタをすることで持ち運びも可能
- ・手前から月・火・水・・・と配置することで取り出しやすい設計

症例：60代 女性 筋委縮性側索硬化症

運動機能の低下に伴い、一包化での投薬を行っていたが、コンプライアンスの低下が目立つ状態であった。試行錯誤の末、『お薬管理箱』を使い、薬局にて一週間分のみ配薬し、持ち帰ってもらったところ、スムーズに飲めるようになった。

配薬した状態で持ち運べることやカレンダータイプと異なり人目を気にせずに保管できることが本人・家族に好まれたと考えられる。

結果：材料に紙を用いる事で、軽量で安価に作製する事ができた。また、当初1週間・分4タイプのみであったが、要望が多かった2週間タイプや分3タイプも作成した。更に曜日や用法の表示方法も改良を重ね、現在のおくすり管理BOXが完成した。

おくすり管理箱作成を社会福祉支援作業所に作製頂くことで、地域貢献することが出来た。

今後の課題：防府薬剤師会としては、販売移管後も監修という立場で、おくすり管理箱の改良に携わり、今後も地域貢献活動を継続していく必要がある。

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。
筆頭発表者名：渡 義彦

— 定例理事会報告 —

平成 28 年度 第 2 回 定例理事会

開催日時:平成 28 年 5 月 12 日(水)19:30~21:30

開催場所:防府薬剤師会館

出席理事:福田、松浦、三堀、椎木、原田、白野、舟谷、吉岡、越智、山内 出席監事:笠原

オブザーバー:永田事務長

議題

【協議事項】

1.定時総会について:松浦副会長

(1)決算説明・予算報告 ①笠原会計士から、決算資料に基づき内容について説明。・確認事項として(質問)山内理事から、公益目的事業費の一部科目の支出金額の計上方法について。(回答)笠原会計士から、計上内容を説明。(質問)三堀副会長から、前年度実績と当年度実績で差異額が大きい科目の内容。(回答)笠原会計士から、内訳を説明。・原田専務理事から、各委員会の収支報告内容について確認。(回答)笠原会計士から、公益目的支出の正当性を判断する上で交通費の計上内容の検討が必要ではないか。②予算報告について(今後の収支見込みを含めて)・原田専務理事から、今後の収支見込みがマイナスになるようであれば、事業内容の検討、特にFAX事業の負担金増加が必要では。・松浦副会長から、各委員会予算の削減を検討(公益支出の削減)。③今後の公益目的支出計画実施についての意見。・越智理事から、委員会予算で公益事業の支出割合の増加。

(2)総会資料の確認 ①次第の確認及び修正。②議事内容の確認及び修正。

2.理事・監事改選の件について:松浦副会長

・理事、監事候補者について、出席理事 10 名全員賛成、承認される。・確認事項 ・白野理事から、監事の資格、職務について確認。・理事 10 名で、定款(10~15 名)で定めた最低人数であるが、役員が欠けた場合の確認。(事務局後日確認:一般社団法第 75

条)(役員の員数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した役員は、新たに選任された役員が就任するまで、なお役員としての権利義務を有する。)

3.新規入会者:松浦副会長 賛成 10 名 反対無し、棄権無し

4.講習会の講師派遣依頼・9/7(水)13:30~15:00(県薬から依頼)会場:野島漁村センター「医薬品の正しい使い方」参加予定者:約 15 名 福田 太郎先生に依頼する。

・12/10(土)13:30~15:00(公民館独自の開催依頼)会場:華浦公民館 集会室「医薬品の正しい使い方」参加予定者:大人のキャリアアップ教室参加者 20 名程度 河村 泰輔先生に依頼する。

講師派遣の選定意見として ・公募する。理事の順番制。地域担当の学薬。地域の薬局。

【報告事項】

1.蛍光灯設置について:事務局 ・事務所入口のカウンター上部に設置する。既存設備を利用し、LED蛍光灯購入費用と工事費のみ。

関連事項・その他

1.保健所・保健センター・その他行政関係:三堀副会長 ・5/16 三師会会議、健康フォーラムについて

2.会営薬局関係 月次業績:吉岡管理薬剤師 ・4 月実績:処方箋枚数は前年比増であるが、収入は減少。8 月以降収入増の見込み。

3.関係団体 商組:松浦副会長 5/26 の総会に出席予定。

委員会活動

1.保険薬局委員会:舟谷委員長 ①協議会開催日 6/14(火) 講演:タケキャブ錠「逆流性食道炎における有効性について」 武田薬品工業㈱ 議題・定例理事会報告・県薬保険薬局部会地域委員会報告・各委員会からのお知らせ・会営国分寺薬局からのお知らせ・その他 ②次回開催日 平成 28 年 7 月 12 日(火)

③「災害時連絡網作成への協力依頼について」説明・案内文の内容確認と修正・協議会までに再作成し、理事会で確認後、協議会で説明し配布する。

2.生涯学習委員会:三堀委員長 研修会開催日程について説明。

3.広報委員会:白野委員長 清流 129 号の原稿依頼中、6/15 発行予定。

4.学校薬剤師委員会:山内委員長 委員会予算の修正報告。

5.在宅医療推進委員会:越智委員長 ・おくすり管理箱の最終試作品の打合せ。6 月上旬の製品化と注文先変更・商品内容の案内等を含め検討する。

6.小委員会・チーム

①休日診療所:椎木担当理事 別紙資料により説明。

平成 28 年度 第 3 回 定例理事会

開催日時 :平成 28 年 6 月 2 日(水)19:30～21:28

開催場所 :防府薬剤師会館

出席理事 :松浦、三堀、椎木、原田、白野、舟谷、吉岡、越智、山内、松井 出席監事 :渡

オブザーバー:永田事務長

議 題

【協議事項】

1.定時総会の反省:椎木副会長①総会資料の不備で開始時間が遅れた。確認を徹底する事。:原田理事②役員選挙の採決進行方法について、議長の負担軽減を図る。:三堀副会長③役員改選時、理事の立候補制を検討(選挙規則等が必要):原田理事④総会出席者を増やすための意見交換

2.今年度の事業予定・計画等:椎木副会長

①納涼会(9/10)・親睦小委員会で実施内容を検討する。

②三師会健康フォーラム(10/23)

③体験セミナー(11 月頃)・親睦小委員会で実施内容を検討する。・公益事業であり年 2 回の実施が望ましい。

④一般市民向けチラシ等の配布は公益事業に該当するのでは。(会計士に確認する)

3.新規入会者:椎木副会長 理事全員(10 名)賛成。入会承認。

【報告事項】

1.ほのぼのハウス三田尻より:事務局 ①第 1 回「ほのぼの夏祭り」の開催にあたり、協賛(志)の依頼有。会として、¥3,000 の志。

2.役員改選に伴う歓送迎会を予定。

関連事項・その他

1.県薬関係:舟谷理事 ・保険薬局部会委員会報告。

2.保健所・保健センター・その他行政関係:舟谷理事 ・「災害時連絡網へのご協力依頼について」協議会で説明し、会員宛て送付する。

3.会営薬局関係 月次業績:吉岡管理薬剤師 ・5 月実績:処方箋枚数は前年比増であるが、収入は減少。

4.関係団体 商組:松浦会長 ・5/26 の総会報告

5.その他:松浦会長 ・地域薬剤師会協議会報告。

委員会活動

1.保険薬局委員会:舟谷委員長 ①協議会開催日 6/14(火) 講演:タケキャブ錠「逆流性食道炎における有効性について」 武田薬品工業(株) 議題・定例理事会報告・県薬保険薬局部会地域委員会報告・各委員会からのお知らせ・会営国分寺薬局からのお知らせ②7/21、生涯学習委員会と協賛して、勉強会を開催する。

2.生涯学習委員会:三堀委員長 ・研修会開催日程について説明。

3.広報委員会:白野委員長 ・清流 129 号の発行

4.学校薬剤師委員会:山内委員長 ・プール水質検査の日程、6/17・7/8・8/5 ・「ダメ、ゼッタイ」キャンペーンについて 日時、場所 6/19(日)、14:00～16:00 イオン防府

5.在宅医療推進委員会:越智委員長 ・在宅医療薬学会(7/16,17,18)でポスター発表 おくすり管理箱:渡先生。血液採取(薬と健康フェアで実施):竹光先生。・6/16、山口博愛病院、井上先生による研修会開催。

6.小委員会・チーム ①親睦小委員会:松井委員長
若い人を中心にチーム編成したい。

②休日診療所:椎木担当理事 別紙資料により説明。

7.その他・研修シールについて:舟谷理事 会員で
ない人が参加している。会員の確認が必要(会員名
簿等)・薬局の緊急連絡への対応:白野理事 緊急
連絡先に電話しても繋がらない薬局がある。以前にも
あり。薬局に対し再度周知徹底を図ること。

平成 28 年度 第 4 回 定例理事会

開催日時 :平成 28 年 7 月 7 日(木)19:36~20:33

開催場所 :防府薬剤師会館

出席理事 :松浦、三堀、椎木、原田、舟谷、吉岡、越
智、山内、松井

出席監事 :渡

オブザーバー:永田事務長

議 題

【協議事項】

1.新規入会者:椎木副会長 出席理事全員(9 名)賛
成。入会承認

2.次回理事会開催日について:三堀副会長・8/4 第
一木曜は、生涯学習研修会(森川先生)開催のため
日程確認 8/2(火)に変更。

【報告事項】

1.熊本地震災害義援金の結果:事務局・総額:
¥268,000・義援金者:個人、76 名+@(有志一同)
32 薬局 薬局、2 薬局

2.前回理事会の確認事項:事務局・一般向けチラシ
作製は、公益事業で問題なし。関連事項・その他

1.県薬関係:松浦会長・6/18 開催の県薬定時総会
について報告。

2.保健所・保健センター・その他行政関係:松浦会
長・8/4 開催、健やかほうふ 21 計画協議会へ出席予
定。・来年 2 月開催予定の国民保健協議会へ出席予
定。

3.会営薬局関係 月次業績:吉岡管理薬剤師・6 月

実績:処方箋枚数はほぼ前年並みであるが、収入は
減少。

4.関係団体 商組:松浦会長・支部長の変更につい
て協議。(山内理事へ変更を検討)

5.その他①心促協会からの依頼:舟谷理事・週 1 回 1
時間程度の施設体験依頼についてチラシを基に説
明。②災害対策委員:舟谷理事・緊急連絡網(6/30
締切)7/4 現在未提出は 20 薬局。来週中にリストを送
付する。③高齢者保健福祉推進会議:越智委員・第 1
回会議の報告。

委員会活動

1.保険薬局委員会:舟谷委員長 ①協議会開催日
7/12(火) 講演:「経皮吸収型鎮痛消炎剤ロコアテ
プの製品紹介」大正富山医薬品(株) 議題・定例理
事会報告・県薬保険薬局部会代議員会報告・各委員
会からのお知らせ・会営国分寺薬局からのお知らせ

2.生涯学習委員会:三堀委員長・研修会開催日程
について説明。

3.広報委員会:松井委員・清流 129 号 6/30 発行、
発送済。総会号 130 号を今月末発行予定。

4.学校薬剤師委員会:山内委員長・プール水質検
査、7/8 実施

5.在宅医療推進委員会:越智委員長・6/16 開催の
認知症研修会、参加者約 80 名で、3 分の 2 が介護関
係者。

6.小委員会・チーム①親睦小委員会:松井委員長・委
員:吉岡、佐藤、真砂、安田、福田(祥)、渡辺(紘)、草
間の予定・納涼会について第 1 回会議開催。開催日:
9/10(土)18:00~21:00 150 名程度の参加者見込。
イベント:マジックショー、子供向ゲーム、抽選会。飲
食関係:移動販売車、屋台を検討中。

②休日診療所:椎木担当理事 資料により説明。

7.その他:舟谷理事・おくすり管理BOXについて 県
薬保険薬局地域委員会で新バージョン、心促協会へ
の移行等説明を行い、各委員にサンプルを配布、地
域への周知を依頼。

山口健康福祉センターからのお知らせ

1 平成 28 年度「薬と健康の週間」の実施について

医薬品を正しく使用することの大切さ、そのために薬剤師が果たす役割の大切さを多くの方に知ってもらうため、本年度も 10 月 17 日（月）から 10 月 23 日（日）までを中心とした期間に、厚生労働省等が主催する「薬と健康の週間」が実施されます。

ついては、本行事の趣旨を御理解の上、地区薬剤師会の啓発イベント等に御協力いただきますようよろしくお願いします。

2 麻薬の年間受払届等について

(1) 麻薬の年間受払届出提出時の注意事項

麻薬の年間受払届出は毎年 11 月 30 日までに行うこととされています。届出に際しては、必ず帳簿と在庫の麻薬数量等を確認しておいてください。

万一、昨年提出の年間受払届に誤りがあった場合は、当センターに御連絡ください。

(2) 麻薬取扱者免許証等の申請と交付

10 月に関係者に書類を送付しますので、必要書類を添付の上、手数料を添えて申請してください。申請により新たに交付される免許証等は、原則、山口健康福祉センター（山口市）の窓口でのお渡しとなりますが、12 月 22 日（木）13:00～16:30 は当センター防府支所（防府市）でもお渡しできます。

また、郵送による交付も可能ですので、郵送を希望される場合は、送付先を明記したレターパックライトか、簡易書留料金分の切手を貼付した返信用封筒を申請時に併せて提出してください。

（参考）レターパックライト：360 円、簡易書留（定形外郵便物 25g まで）：430 円

3 平成 27 年度医薬品販売制度実態把握調査結果について

今年度も厚生労働省において、消費者が薬局や薬店において購入可能な医薬品の販売実態を、一般消費者からの目線で調査することにより、医薬品販売の適正化を図ることを目的に実態調査が行われました。

山口県では 60 の薬局・店舗販売業が調査され、従業員を区別する名札のない者が対応したり、要指導医薬品で購入者が使用者本人であることの確認が不十分等多くの不遵守が報告されました。

今一度、適正な医薬品の販売方法を確認し、法令遵守の徹底をお願いします。

○ 薬局・店舗販売業の店舗販売に関する調査

一般消費者の調査員が、全国 5,005 の薬局・店舗販売業者の店舗を訪問し、医薬品の販売ルールや販売状況等に関する次の項目を調査（平成 27 年 11 月～12 月）

（主な調査項目）

①従事者の区別状況

②要指導医薬品の販売方法（本人確認、薬剤師による販売）

③一般用医薬品の情報提供、相談対応の状況 等

調査概要 <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000126634.html>

ー 防府健康フォーラム2016のお知らせ ー

生涯学習委員会 三堀 史郎

関係者を含み、500名以上の参加者を予定しています

講演の始まるまでの間、医師・歯科医師・薬剤師による健康相談、体験コーナーでは、今年も広島大学薬学部臨床薬物治療学の教授と協力して、薬剤師が血液採取による健康チェックを行います。

今回は講演2の前に、健康運動指導士さんによる体操も予定していますので、是非、参加及び協力をお願いします。

(防府三師会主催) 第11回市民公開講座 ほうふ健康フォーラム2016

快適睡眠で健康づくり

～元気で健やかに過ごすための健康講座～

睡眠は、1日の疲れがたまった心と体をすっきりと整えてくれます。睡眠に問題があると、心に影響を及ぼすだけでなく、高血圧、心臓病など生活習慣病のリスクが上がるとも言われています。ぐっすり心地よく眠るためにはどんなことに気をつければ良いのか、一緒に考えてみませんか。

<日時> 平成28年10月23日(日)受付 12:00～

参加費：無料

<会場> デザインプラザ HOFU 2階イベントホール

(ゆめタウン防府西側) ※例年と会場が違います。御注意ください。

【駐車場】 デザインプラザ HOFU 駐車場(ゆめタウン防府北側)

I. 催し物(12:00～13:00)

●体験コーナー：自分の体を知ろう！

血圧測定、ストレスチェック、血糖などの検査、乳がんモデル

●健康相談：気になることを聞いてみよう！

(医師・歯科医師・薬剤師・歯科衛生士・歯科技工士)

●展示コーナー：小中学生の歯科関連作品の展示・ピンクリボンコーナー



II. 講演(13:00～) ※手話通訳・要約筆記も用意しています。

講演1 「そのいびき、ちょっとまずいかも!？」 (50分)

ささお歯科クリニック 口腔機能センター 院長 佐々生 康宏 先生

<ちょっと一息>

睡眠を促す運動をしてみましょう! (15分)

医療法人米沢記念 桑陽病院 健康運動施設 VIVA SOYO

健康運動指導士 重田 和弘 先生



講演2 「脳の老化と睡眠の老化～レストレスレックス症候群を中心に～」 (50分)

医療法人社団土屋医院 副院長 土屋 智 先生

◆健康づくりに向けた共同宣言

主催：防府三師会(防府医師会・防府歯科医師会・防府薬剤師会)

共催：防府市、山口県山口健康福祉センター、山口県歯科技工士会防府支部、

山口県歯科衛生士会防府支部

後援：ほうふ日報、防日新聞、山口新聞、防府商工会議所

問い合わせ先：一般社団法人 防府薬剤師会 <電話：0835-38-4360>

— 納涼会が開催されました —

親睦小委員会 松井 都世子

9月10日(土)、毎年恒例になりました(一社)防府薬剤師会納涼会が開催されました。台風など天気が心配されましたが、当日は納涼会日和。山口市薬剤師会会長 岡村 祥平先生はじめ、多くの来賓の方々にもご参加いただきました。さらに驚くことに、今年は過去最高194名もの方々に参加していただきました。親睦小委員はじめ、スタッフ一同うれしい悲鳴。本当にありがとうございました。



今年は、新たな試みとして、「蔵だこ」さんに来ていただき、ガパオライス・BBQチキン・たこ焼き・ポテト・かき氷を提供していただきました。特にたこ焼きは大人気。さすがの蔵だこさんも、納涼会の賑わいにはびっくりされていました。

イベントでは、マジシャンの「Mr.K とタンク」さんによる、マジックショーが行われました。ヘイワ薬局の越智先生の指輪を使ったロープマジックをはじめ、フォークが曲がったり、テーブルが持ち上がったりする様子に、沢山の子供たちが目の前で繰り広げられるマジックを食い入るように見ていました。

その後行われたマジック教室では、小さな子供でもできるような割りばしや輪ゴムを使った技を教えてもらえたり、実際にマジックを楽しむことができたようです。



抽選会では、当日、福田前会長から差し入れしていただいたビールやジュースも特別賞として景品に加わり、大変盛り上がりしました。そして、みごと一等賞のレイコップを防府リハビリテーション病院の小林先生がゲット。実はお家のレイコップがちょうど壊れて、新しいのを購入しようと思っていたところだったそうです。よかったですね。

当日は、想定外の参加者数だったとはいえ、対応が不十分なところも多々あったと思います。親睦小委員一同、今年の経験を活かし、来年もみなさんの交流の場としてさらに喜んでいただける納涼会にしたいと思っています。来年もご参加よろしくおねがいいたします。

■編集後記■

暑い夏が終わり、過ごしやすい時期になりました。

今年はオリンピックの日本人のメダルラッシュや、カープの25年ぶりリーグ優勝などスポーツが目につくことが多いように感じます。

スポーツは観るのは好きなのですが、今年は自分もやろうと40歳以上のラグビーチームに参加しました。そこで驚いたのですが、60歳以上の方のチームがあり、その試合では相手もちろん60歳以上。両チームの中には70歳代、80歳代の方も混じっても元気にプレーをされているんです。

私も60歳や70歳になっても元気になんかに打ち込めるよう、いつまでも若い気持ちを持っていきたいと思いました。

芸術の秋・スポーツの秋・食欲の秋なんて言いますね。皆さんはどんな秋を過ごされますか？

(一社)防府薬剤師会 広報委員会

(白野 陽正、松井 都世子、渡邊 太朗、青谷 元喜、佐藤 洋平)

発行所

〒747-0028 防府市東松崎町4-23

(一社)防府薬剤師会

TEL:0835-38-4360

FAX:0835-38-4371

URL:<http://hoyaku.jp/>

e-mail:info@hoyaku.jp

発行編集人 松浦 紘明

印刷所 瞬報社オフリン印刷株式会社

山口市小郡下郷2410

TEL:083-972-5678